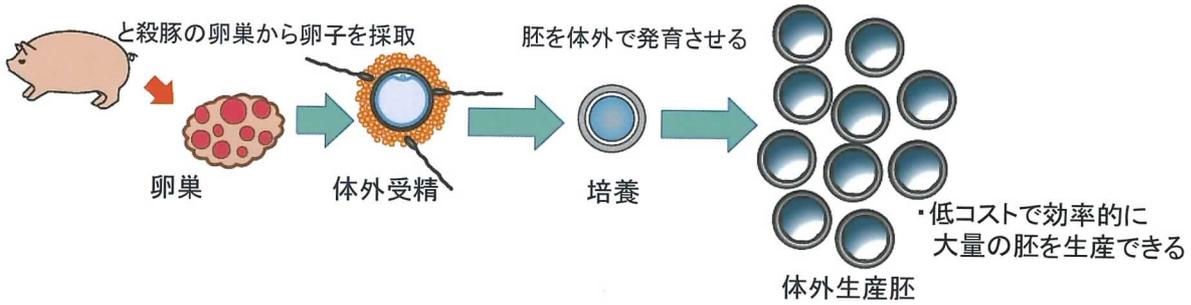


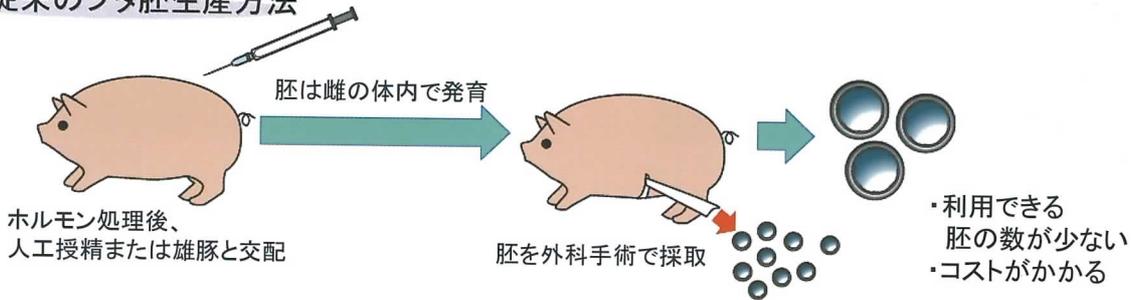


体外生産胚から子豚が誕生

ブタ胚の体外生産法



従来のブタ胚生産方法



これまで廃棄されていたと殺豚の卵巣から卵子を採取して体外で受精・発育させる体外生産胚の作成と、この胚を外科手術で仮親に移植し子豚を誕生させることに成功しました。これにより、貴重な遺伝資源を低コストかつ効率的に利用できます。

さらに、体外生産胚を活用した周辺技術の発展により、将来的には品種改良や優良豚の増産、病気の蔓延防止への貢献が期待されます。

今後は、胚の移植方法や保存技術の開発改良を進め、実用的な繁殖技術の確立に取り組んでいきます。

(畜産研究部)